

人権擁護委員が再任

林秀和さん・石毛昭夫さん

法務大臣の委嘱により、7月1日付けで林秀和さん（神宮寺）と石毛昭夫さん（三川）が人権擁護委員に再任されました。人権擁護委員は、毎日の暮らしの中で起こる人権に関するさまざまな問題を解決するため、皆さんの相談に応じています。定例相談は第1～4火曜日に、市役所または各支所で順番に開催しています。相談は無料で秘密は守られます。



▲林 秀和さん



▲石毛昭夫さん

高齢者叙勲

地域住民の厚い信頼を得て昭和46年4月、飯岡町議会議員に当選して以来、連続3期12年にわたり豊富な経験と卓越なる識見で、地方自治の発展に尽力されました。この間、飯岡町議会議長をはじめ多くの要職を歴任し、町政の重要案件はもとより社会福祉・児童福祉体制の整備、産業振興などに多大な貢献をされました。



旭日単光章

山本 市次郎さん

88歳（下永井）

みんな違ってみんな素晴らしい

小学4年生が人権教室



▲ビデオを見た感想を発表する子どもたち（飯岡小）

人権擁護委員が小学校を訪問して行う人権教室が、飯岡小、鶴巻小、古城小、中央小の4校で、4年生を対象に行われました。「人権！と難しく考えなくていい、この授業で何かを感じてもらいたい」と話していた講師の吉野直子委員（足川）は、教材ビデオ「名前…それは燃えるいのち」を見せた後、子どもたちの感想に耳を傾けていました。子どもたちからは「名前は両親が付けてくれた大切なもの」「自分の名前が前より好きになった」「友達が傷つくようなあだ名はいけない」「名前はそれぞれ違ってみんな同じように大切なものだと感じた」など、たくさんの発表がありました。

夏だ！みこしだ！お祭りだ！

7月上旬、市内各保育所で夏祭りが開催されました。13日の三川保育所では、あいにくの天気となってしまいましたが、子どもたちは元気な掛け声とともに、手作りのおみこしを担ぎ、訪れた人たちを楽しませていました。また14日の第三保育所では、「袋お囃子保存会」を招いて祭りが行われました。お囃子に合わせて獅子が園内に現れると、驚いて泣き出す子や「頭が良くなるようにかんで！」と名乗り出る子もいました。子どもたちは笛や太鼓の音色に合わせて「ワッショイ！ワッショイ！」と威勢よくおみこしを担ぎ、夏の祭りを満喫しました。

▶雨なんかなんのその、保護者も参加して練り歩く（三川保育所）



▲獅子にかまれそうになり、泣き出してしまった子ども（第三保育所）

第2中隊第5分団第3部が海匠初制覇

第50回海匠支部消防操法大会



▲優勝を喜ぶ団員たち。最優秀指揮者：平山雅一さん（前列左から1番目）最優秀3番員：林淳一さん（前列右から2番目）

県大会への支部代表を決める消防団の操法大会が6月27日、銚子マリーナ駐車場で行われ、銚子市、旭市、匝瑳市の代表10チームがポンプ車の部、小型ポンプの部で演技を披露しました。多くのチームが強い横風に苦戦する中、旭市から小型ポンプの部に出場した第2中隊第5分団第3部は会心の演技を披露。見事、初の栄冠を手にしました。また個人の部でも、同チームの平山雅一さんが最優秀指揮者に、林淳一さんが最優秀3番員に選ばれました。



▲目を離さず火点に集中する団員

マリンスタジアムでトップセールス



メロンの試食も大好評

市の特産品などをPRしようと6月22日、千葉マリンスタジアムでトップセールスが行われました。スタジアム前に設けられたテントでは、出荷が始まったばかりの貴味メロンをはじめ、ミニトマトやキュウリ、萬歳米、米粉ケーキなどが並べられ、野球観戦に来た人たちにPR。市長もテントから「甘いですよー、安いですよー」と大きな声で販売を手伝っていました。この日対戦のあった千葉ロッテの西村監督とオリックス選手会長日高選手には市長から貴味メロンが手渡しでプレゼントされ、市のPRがされました。

心を1つに公演の成功を誓う

旭市民ミュージカル結団式

第6回を迎える旭市民ミュージカルの結団式が7月10日、市民会館ホールで行われました。今年の参加者は32人、来賓のあいさつの後ミュージカルの指導をしてくれる演出家の大川義行先生の前で、演技に懸ける意気込みを話したり、体の柔らかさやものまねなどの特技を披露したりして、自己アピールをしていました。またミュージカル経験者有志による歌や簡単な芝居も披露され、会場に来ていた人たちから大きな拍手が沸き起こっていました。最後に全員が円陣を組んで、来年2月27日の公演の成功を誓い合っていました。

ごみ拾いで地域をきれいに

第一中学校地域ボランティア活動

第一中学校の全校生徒254人が、地域でのボランティア活動を通して豊かな心と郷土を愛する心をはぐくもうと7月2日、学校周辺の通学路を中心に空き缶などのごみ拾いを行いました。当日は7月の中旬とは思えないほどの猛暑の中、学年ごとに3コースに分かれ、1時間ほどかけてごみを拾って歩きました。生徒の一人は「すごく熱くて疲れたけど楽しかった。またやりたい」と額の汗をぬぐいながら話してくれました。



▲アジサイの下のごみも見逃さないように



▲有志によるワークショップで小芝居を披露

親元を離れて自立への第1歩

ユートピア通学合宿

6月17日から19日の3日間、自分たちで食事作りや掃除などを行い学校へ通う通学合宿に、飯岡小と三川小の5、6年生35人が参加しました。児童たちは、包丁を使い慣れない手つきで夕食を作ると「毎日料理をやってくれる家族はすごい」「やっぱりお母さんの味付けにかなわない」など、あらためて親などに感謝をしていました。また「家族に頼ってばかりだったけど、今度は私が料理を作ってあげたい」と話す児童もいました。

▶悪戦苦闘しながらも楽しそうに夕食作りに励む児童たち



畑の中を行ったり来たり

鶴巻小でコスモスの種まき

鶴巻小の1、2年生62人が7月5日、出清水（蛇園）の畑でコスモスの種まきをしました。子どもたちは2人1組になって、手押し式の種まき機を押しながら畑の中を行ったり来たり。「初めてだったので、真っすぐ押すのが難しかった」「手で押して種が植えられていくのがおもしろかった」と笑顔で話していました。一通り種をまき終わると、種まきを指導した出清水管理組合の組合長が「10月ごろになったら一面のコスモスが咲くのでお父さん、お母さんと見に来てください」と秋の再会を呼び掛けました。

▶うれしそうに種まき機を押す子どもたち



新鮮な魚を一網打尽

梅雨が明け、夏の強い日差しが降り注いだ7月18日、矢指小の児童127人が足川浜で「地曳き網」の体験をしました。この体験は、市内の小学校が独自で事業を設定できる「学校いきいきプラン事業」の一環として行われました。

最初は海に入ることをためらっていた児童も、最後は波にぬれながら懸命に縄を引き、網にかかったアジやフグ、エビなどを見て、大きな歓声を上げていました。体験の後にはイワシの試食が行われ、焼きたての魚を食べると「おいしい！もっと食べたい！」とおかわりをしたがる児童がたくさんいました。



▲網を引こうと勢いよく走り出す子どもたち

クイズに答えて旭を知ろう！



▶向けられたカメラに緊張した面持ちで解答する家族

千葉テレビで放送されている「おじゃまします市町村街かどクイズ」の撮影が7月18日、砂の彫刻美術展が開催されている矢指ヶ浦海水浴場特設会場で行われました。砂の彫刻を見ようと訪れていた人たちに、司会者が旭市にちなんだクイズを出題。出題された人たちは、3つの選択肢からクイズに答え、旭市を知ると「へー！そうなんだ」などと、感心していました。

この様子は、8月6日の午後10時から午後10時15分、千葉テレビで放送されます。

13年ぶりの快挙！

第32回千葉県スポーツ少年団軟式野球交流大会兼第29回関東大会予選会

5月23日から6月13日の間、柏市塚崎運動場などを会場に、県内各地区を代表する68チームが参加して、軟式野球交流大会が開催されました。

旭市から参加した富浦オーシャンは強豪を続々と破り決勝戦に進出しました。この大会で、旭市のチームが決勝戦に進出したのは13年ぶりの快挙。接戦の末、惜しくも負けてしまいましたが、準優勝という結果を収めました。



▶惜しくも準優勝の富浦オーシャン

税の大切さを学ぶ

租税教室

税の大切さや仕組みを知ってもらうため、毎年行われている租税教室。7月1日、この日取材した第二中学校では3年生291人が参加しました。生徒たちは、税のない世界を描いたビデオを見たり、税に関するクイズに参加したりと普段とは違う授業を真剣なまなざしで受けていました。途中「大切な税金の一部、1億円を持っています」とレプリカが披露され、突然の1億円登場に会場内がどよめく場面も。租税教室は、今後も希望した小・中学校で行われる予定です。

「うわっ、重たい！」1億円は想像以上に重かった



配水場は楽しいところ

旭配水場見学



「噴き上がる水に大はしゃぎ！服がびしょぬれ！」

7月14日、豊畑小の4年生48人が水道の仕組みを知ろうと旭配水場を見学しました。水道課の職員の説明を受けながら子どもたちは、見たことのない機械や風呂10杯分の水が入るといふ給水車などを見ては、驚きの声を上げたり、熱心にメモをしたりと水の大切さを学んでいました。この日は、特別に水道管の一部を開放。勢いよく噴き上がる水に、子どもたちは大興奮。「すごい！」「楽しかった、もう1度来たい！」と帰り際に話してくれました。

水質浄化は「クウシンサイ」に任せて

長熊ため池水質浄化活動

7月7日、長熊ため池の水をきれいにしようと水質浄化に効果がある野菜「クウシンサイ」の種まきを古城小の5年生25人が行いました。子どもたちは「どうするの？」「これでどうかな？」など関係者に聞きながら、丁寧に種をまいていました。芽が出て少しの間は子どもたちで管理し、その後水質浄化のため長熊ため池に移動します。子どもたちは「おもしろかった」「大変だった」と感想を話してくれました。この野菜は食べることもでき、10月ごろまで何回か収穫も行われます。

「マットに等間隔で穴を開け、数粒ずつまきます。」



柔道の道を究めます！全国へ出陣！

第19回日整全国少年柔道大会千葉県大会

6月20日、船橋市武道センターで県内の小学生146人が参加して柔道大会が行われました。32人が出場した4年生トーナメントで旭柔道協会の加瀬龍弥くん（矢指小4年）が見事に優勝。10月11日に東京都の講道館で行われる全国大会への出場を決めました。千葉県大会の頂点に立った加瀬くんは、大会後「優勝できてうれしい。目標は全国優勝です！」と話してくれました。また旭柔道協会は同時に行われた第1回千葉県接骨師会杯争奪千葉県少年柔道大会の団体戦男子トーナメントでも3位の成績を収めています。



▲光り輝く金メダル！得意技は払い腰

健康の秘訣は「ナイスショット！」

第3回旭市長杯争奪パークゴルフ大会

あさひパークゴルフ場で7月1日、157人が参加してパークゴルフ大会が行われました。この日は、ホールインワンを5人が達成するなどスーパープレーが続出。参加者の一人は「参加者のほとんどが、毎日のようにここでプレーしている。そのせいか、みんな体が丈夫になった。旭は長寿都市になりますよ！」と話してくれました。

なお男性の部優勝は穴澤清さん（見広）、女性の部優勝は小林せい子さん（萬力）でした。



▲元気はつらつ、爽快プレー！